

2019年

アルゼンチンにてプロサッカークラブを日本人が中心となり設立しました。



1994年2月、私はアルゼンチンのクラブチーム「レナトセサリーニ」に選手として所属する機会を得ました。英語すら出来ない19歳の少年がスペイン語のサッカー大国に渡り、そこで人生を大きく変える一年を過ごしたのです。

アルゼンチンでまず目にしたものの。それは「道路」と呼ぶにはひどくデコボコな道でサッカーボールを蹴って遊びに興じる人々の姿でした。子供はもちろん大人まで、ひとつのボールを追いかけて走って笑ってケンカして、みんなで一つになるストリートサッカーです。

友人でも顔見知りでもない、スペイン語も全くできない日本人の少年をサラリと仲間に加えてくれ、ゴールを決めると満面の笑みで駆け寄りカー杯の抱擁と祝福をくれたアルゼンチンの人々。あの時の光景も、あたたかい感動も、私が知っている「サッカー」というスポーツの定義を根本から覆す体験となりました。

一年間共に戦ったチームメイト（サンティアゴ・ソラーリ）は、その後レアル・マドリード監督に就任し、当時の監督（ホルヘ・デシオ）は前アルゼンチン代表フィジカルコーチを務めました。私の良きアドバイザーだったチームスタッフ（ラウル・マルコビッチ）は、F.C.バルセロナでトップチームコーチとして活躍しました。皆が私の恩師であり、仲間でした。

彼らから学んだサッカーに向き合う姿勢やプレーに対する責任感、コーチ陣との対等な関係性といったことは、アルゼンチン選手の強みでもあり、日本サッカーの発展にも不可欠な条件です。

私がサッカー指導者としての道を歩む原点となったアルゼンチンの地で、本気でプロを目指す日本人選手を育て、アルゼンチン選手たちと共に切磋琢磨できるクラブを作りたい。多くのアルゼンチン選手がヨーロッパへ活躍の場を広げていったように、日本から南米へ、そしてヨーロッパへと続く道をクラブとして後押ししたい。その一念で、活動してまいります。

サッカークラブ設立。
アルゼンチンプロリーグ1部 昇格を目指す
～世界の舞台で中心となる選手・監督の育成～



さあ、歴史を創ろう！

クラブ名：無双ARGENTINA C.F.

無双 MUSOU
ARGENTINA C.F.

(MUSOU ARGENTINA Club de Futbol)

由来：世の中に肩を並べるものがないほどの選手育成を目指す。

プロジェクト概要：

プロ選手を目指すアジア圏の選手たちの視野と可能性を広げる為、プロリーグ参戦を目標とした 日本資本・運営のクラブ設立を目指します。
そして選手育成だけではなく、世界を目指す指導者育成にも注力していきます。

2018年：アルゼンチンにてNGO法人の設立。

2019年：アルゼンチンにてプロ選手輩出クラブ設立。

アルゼンチン1部リーグ クラブ・サンロレンソ・デ・アルマグロと
育成提携
育成提携契約により、優先的にサンロレンソへの選手供給が可能。

2020年：Liga レヒオナル参戦。(5部相当)

2021年：天然芝2面、寮、ジム等の設備を持つトレーニングセンターを設立。
日本人指導者・選手受け入れ開始、グラウンド面貸し開始。

2022年：人工芝グラウンド1面完成。寮の新設。

2022年：アルゼンチン アマチュアリーグ フェデラル アマテウ (4部) 昇格

2023年：プロリーグ フェデラル A (3部) 昇格

2025年：プロリーグ プリメラ ナシナル (2部) 昇格



森山 潤：

国際サッカー連盟(FIFA)・アルゼンチンサッカー協会公認国際プロ監督 (S級)

1994年-95年

レナト・セサリーニ (アルゼンチン) にてサンティアゴ・ソラーリ選手 (前リアル・マドリード監督) と共にロサリオリーグ優勝に貢献。
94年アメリカWCUPにサウジアラビア代表の練習相手としてクラブより選抜されて渡米。

2011-12年

C.A.インディペンディエンテ (アルゼンチン1部) ユース年代コーチ

2017年

アルセナルF.C. (アルゼンチン1部) トップチームコーチ
アルヘンティノス・ジュニアーズ (1部) サテライトチームコーチ

2019年

クラブ・アトレチコ・サンロレンソ アジア圏スカウト ディレクター